

Net Work Report FORWARD

ネットワークレポート
フォワード 第38号
for working together

特定非営利活動法人大阪障害者雇用支援ネットワーク
〒540-0031 大阪市中央区北浜東3-14(エルおおさか11F)

TEL:06-6949-0350
FAX:06-6949-1256

<http://www.workwith.or.jp/>
E-mail: o-isc@onyx.dti.ne.jp

発行人/江口 敬一

今号のごあいさつ

特定非営利活動法人(NPO)発足から10年を迎えて

代表理事 江口 敬一

2011年も早1ヶ月余りが過ぎましたが、今年もよろしくご指導ご支援の程お願い申し上げます。

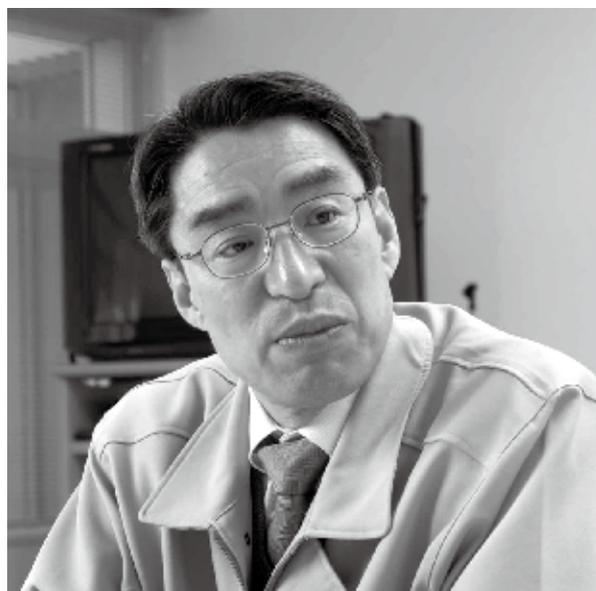
お蔭さまで今年はNPO法人格を取得して10年目となります。

記念すべき第1回通常総会での代表理事(現最高顧問)の講演から「NPO設立の目的と認識」を再度ご紹介したいと存じます。

- ① 経営者・労働団体・行政機関・民間など多彩なメンバーがNPOにかかわっており、既存のしがらみや既得損益を越えて連携し、自律的市民として責任ある行動を行う。
- ② 障がい者雇用企業や働きたい障がいのある人のサイドに立ち、<オンブズマン>として施策の遂行を監視するとともに、政策提言や必要なサービスを創造する。
- ③ 特に制度の谷間にある在宅障がい者問題を解消するため、<インターンシップ制>の拡充をはかるための努力とその事業展開を図る。
- ④ 幅広い市民層や若い世代に支持される市民活動として啓発広報に努め、活動の拡充を図る。
- ⑤ 地方自治体などを支援して地域格差の解消を図り、地域の活性化、就労支援組織のネットワーク化を図る。
- ⑥ 持続性のある安定した事業運営を模索する。

以上の6点を挙げられています。

これまでNPOではインターンシップ事業部、地域ネット事業部、ジョブコーチ事業部、顕彰事業部、広報事業部と上記を具現化する各



事業部の活動が活発に展開されてきました。設立当時の就業支援課題が、委託訓練、トライアル雇用、障害者就業・生活支援センターの配置等整備、結実されているものも多くあります。設立10年目を迎え、達成しているもの、できなかったもの、不十分な点、改めるべきもの、変化したもの、変化すべきもの、継続していくもの、更に推し進めるべきもの等を自戒もこめまして今一度再確認し合い、次世代に引き継ぐ準備の年となれば幸いです。

また本年は、NPOを取り巻く周囲の環境にも変化のある年となります。閉塞感漂う世相ではございますが、一步を踏み出す人たちに追い風となるような1年でありますようお願い申し上げます。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

1月 講演会**「ジョブコーチ養成研修の状況と今後について」**

報告：泉原 敦（大阪市立此花作業指導所）

2010年最後の定例会は、ジョブコーチ事業部より、主にジョブコーチ養成研修の報告をさせて頂きました。

当ネットワークで実施する事となった経緯

従来、ジョブコーチ養成研修（職場適応援助者養成研修）は、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構が開催していましたが、平成17年10月の障害者雇用促進法の改正により、民間団体でも実施することが可能となりました。

研修実施機関として指定を受けるためには審査がありますが、当ネットワークでは、平成11年から17年まで、「就労支援アドバイザー養成講座」の名称で、市民ボランティアの養成講座を実施（12期、187名修了）しており、その実績が認められ、そのノウハウを活かし今後の活動を広げていくために、平成18年（年3～4回開催）より研修の指定を受け実施して来ました。

また、ジョブコーチ研修だけではなく修了者を対象にネットワークの場・日々の問題解決の糸口の場としてアドバンス研修を、平成19年度から毎年1回開催しております。

その他にも、ジョブコーチ研修の内容を活かした形で就労支援員養成研修や就労支援員実務者研修等も開催しております。

ジョブコーチ研修の位置づけ、役割

就業支援に関する研修は全国各地で開催されており、ジョブコーチ研修もその内の1つとして位置づけされております。

多くの研修は、送り出す（施設職員等）側の研修が中心で、受入れ（企業）側の研修が少なく、送り出す側と受入れ側と一緒に受講する事はほとんどありません。また、開催期間も短いものでは半日のみ、長いものでは6～7日間など、その研修内容や形態は様々です。

そんな中でも、このジョブコーチ養成研修では、送り出す1号ジョブコーチ（ジョブメイ

ト）の方と受入れ側の2号ジョブコーチ（ジョブコンダクター）を同一の期間内で、養成研修を実施しており、厚生労働省の示している標準カリキュラムをクリアしなければならないため、当ネットワークの実施している養成研修では、月曜日～土曜日の6日間、内容の濃い研修カリキュラムを構成し受講していただいております。

ジョブコーチ養成研修は、他の就業支援に関する研修に比べ、時間数量が多く、質も高い研修内容が求められています。特にここ数年では、障害者自立支援法上の就労移行支援事業所において、就労支援力の向上が求められており、企業側においても助成金や雇用管理上のリアルタイムな悩みを解決していくための一つの手段として、注目度の高い研修として位置づけされ広がりを見せています。

受講希望者、受講者の状況

平成18年度からジョブコーチ研修を開催しておりますが、毎回1号ジョブコーチも2号ジョブコーチにおいても定員数を上回るたくさんの応募があります。その中から、なぜ養成研修を受講するのか、受講申込書の記載内容等から、優先順位の高い方から受講をして頂いており、応募者に対して受講者の倍率は、例年1号ジョブコーチでは1.5～2倍程度、2号ジョブコーチでは1.5倍前後となっております。

1号ジョブコーチの受講者の所属では、就労移行支援事業所が多く、次いでその他の障害福祉サービス事業所（就労継続B型、旧法授産施設等）となっており、障害者自立支援法上の施設において、重要度の高い研修であることが伺えます。

受講者の地域別では、1号2号ともに開催府県だけでなく、全国各地から受講していただいております。地方からの受講ニーズが高い現状であり、開催数や定員数に限りがあることから、開催府県だけでなく、地方を中心に全国レベルで

注目を集めています。

受講目的では、1号2号ともに「スキルアップ・知識技能習得」を目的に受講される方が多く「1号・2号職場適応援助者として稼働したい」を目的に受講される方が次いで多い傾向となっておりますが、受講者の業務経験年数に照らし合わせると、1号の方では毎回圧倒的に、0～3年未満の方で「これから就労支援に取り組もう。」「この研修を取っ掛かりに、就労支援を始めていこう。」という方が多く、2号の方では各経験年数の層の方が受講されており、「職場内の行き詰まりをどう防ぐか、解消するか。」と悩んでいる方が多く、同じ受講目的の項目（スキルアップ・知識技能習得）でも、1号と2号とでは少し状況が違う様子で、この悩み・思いに研修内容を通してどのように対応していくかが大切であります。

研修カリキュラムの内容

当ネットワークのジョブコーチ養成研修では、座学と実技を通して、大きく「人を知る」「仕事（企業）を知る」「人と仕事をつなぐ」の主に3つに分かれる内容を6日間で学んで頂きます。講義毎に受講生の方には講義に対する感想や質問等をコミュニケーションカードに記入して頂きます。その内容も含め、研修カリキュラムの内容について説明を行いました。

研修の講師には、障害のある方を送り出す支援者側と障害者雇用に取り組まれておられる企業側の方々に、「働くこと」を支えるための仕組みや支援について、それぞれのお立場から講義科目に沿った形で、ご講義を頂いております。

また、座学だけではなく、実際にジョブコーチ（1号または2号）の方が支援に入り、障害のある方が働かれている現場に出向き、見学や実習を行います。会社担当者や支援者と有意義に意見交換が行えた方もいれば、挨拶をせず作業現場に入り、会社担当者から注意を受けた方もいらっしゃるなど、色々なエピソードがあり、障害者の方が働く現場からたくさんの事を学ばれ皆さん見学・実習を終えられます。

研修最終日には、6日間の研修を通しての総括として、「今後地域でどのように活動していくのか」、「自らの課題をどのように解決していくのか」を、プレゼン発表をして頂きます。代表理事・講師の方々から、質問やコメント・総評を頂き、各受講生の今後の活動に活かすま

めとして実施しておりますが、皆さん頭で悩みながら資料を作成され発表を行っています。

受講生の立場から

0～1年未満で就労支援の取っ掛かりとして受講した者にとって、6日間の研修期間はとても長く、ついていく事が必死でした。研修で一番印象に残ったことは、障害者雇用の取り組みを現場で見させて頂いた事で、障害のある方たちが中心となって仕事に取り組まれている姿を見て、「施設内でなぜ出来ていないんだろう。もっと施設内で取り組めることがあるのではないか」という危機感を感じたことです。

研修受講時に江口代表理事から「まず一人目の就職者を」と頂いた言葉を事を今でも忘れずに持っていますが、その言葉の通り研修受講後、1名の方の就職をきっかけに「働き続けることを支える難しさ」のようなものを感じることができ、改めて6日間を振り返ると、これからも忘れず大切にしなければいけない内容がたくさん詰まっている研修であることに気付きました。

全国各地から、福祉施設・企業の方々が受講し、研修開始時には地域や事情が違い固い雰囲気であった皆さんも、研修修了時には達成感に満ち溢れた表情で修了証を受け取られていきます。研修を通じて得た、受講生同士のネットワークは今でも欠かす事のできないもので、より一層このネットワークを大切にしていきたいと思えます。

講師から

- 同じ目線で支援をすること。知識を使い、知恵を出し行動に移すこと。得意な分野を最大限に生かして自信につなげていく事の大切さを話しています。
- この研修をきっかけに採用して頂く企業の方が増え、とても喜ばしいです。
- 自分の講義が伝わっているのか心配でしたが、今回の報告を聞いて少し安心をしました。支援者側と企業側との考えが合致している、上手く研修カリキュラムに反映されているので、受講生に良い形で伝わっているように感じます。
- 年々、実習先が増えとても嬉しいです。時には受講生で、時には実習受け入れ先となり、お互いに支えあう作用が生まれ、活動の場が

広がってきていることを感じます。

- 毎回、講義をさせて頂き思いを共有することで、改めて自分の活動の確認作業が出来ており、勉強させて頂いています。

など、数多くのご意見を頂きました。講師の皆さんこれからもよろしくお願い致します。

今後について

現状の制度では、雇用に至るまでの制度・支援がここ数年増えてきており充実してきていますが、雇用後を支える制度が少なく定着支援が難しくなっています。そこで本来ジョブコーチが活躍できる場面ではありますが、助成金の活用には手続きが煩雑で実際には、ジョブコーチ研修修了者に対して、2割程度しか活用

されておらず、活用されにくいのが現状であるため、研修内容はもちろんのこと使いやすい制度としての要望・提案を今後も出し続けていきたいと思えます。

研修内容については、今年度定員を10名増やしましたが、現状2倍近い受講希望者がいらっしゃるの、今後も受講ニーズがある限り出来る限り、数多く開催出来るように取り組んでいきたいと考えております。

また受講生から、講義だけでなく演習を多く取り入れてほしいとの声が聞かれていますので、今後の研修カリキュラムを見直して対応できる範囲内で少しずつ受講生の声に応じていきますので、皆さんからの貴重なご意見をお待ちしております。

3月講演会のご案内

「精神障害者を雇用して困ったこと、良かったこと」

日時：平成23年3月19日（土）午後2時30分～5時

場所：エルおおさか11F 大会議室

講師：芦田 庄司氏 アクテック株式会社 代表取締役社長

シンポジスト（調整中）：

精神障害のある方（雇用中の方、就職活動中の方）、就労支援担当者、医療機関等

内容：精神障害の方を雇用して、安定した雇用を続けるにはどうすればよいか、という点に頭を悩ませている所もあるかと思えます。

今回は、「長く勤め続けるコツは何か？」をポイントに10年以上精神障害の方の雇用実績のあるアクテック株式会社での「困ったこと」や「良かったこと」についてお話いただき、その後、シンポジウムとして、精神障害のある方で就職中の人、現在就職に向けてがんばっている人、支援者、医療機関など様々な機関の方にご登壇いただき、意見交換を考えています。

お問合せ先：NPO) 大阪精神障害者就労支援ネットワーク J S N 門真

TEL 06-6904-1905

NPO) 大阪障害者雇用支援ネットワーク

TEL 06-6949-0350

Network AWARD

おめでとう ありがとう そしてこれからもよろしく

1年間の定例会にかかさず参加された方に、また大阪障害者雇用支援ネットワークの活動に多大な貢献をされた方に「ありがとう」という感謝の気持ちと「これからもよろしく」という思いを込めて皆勤賞、感謝状を下記の皆さんに贈呈しました。

Network AWARD 感謝状

株式会社ダイキンサンライズ摂津
取締役工場長 後藤 金丸 様



ジョブコーチ養成研修等の講演など、これまでの活動を支え表彰された後藤さん

Network AWARD 皆勤賞

大阪府立たまがわ高等支援学校
出口 哲史 様



定例会・一泊研修も含めて、毎月の会すべてに参加され表彰された出口さん

Network AWARD 皆勤賞

シャープ特選工業 株式会社
北村 晋 様



すべての定例会に参加され表彰された北村さん（写真左）、合田さん（写真右）

Network AWARD 皆勤賞

大阪府済生会千里病院
合田 吉行 様



Network AWARD 感謝状

株式会社ダイキンサンライズ摂津 取締役工場長 後藤 金丸 様

Network AWARD 皆勤賞

大阪府立たまがわ高等支援学校 出口 哲史 様
シャープ特選工業 株式会社 北村 晋 様
大阪府済生会千里病院 合田 吉行 様

『地域企業ネット事業部の活動報告会』

地域から期待される事業部の活動をめざして、 意見交換会をしよう！

副代表理事 湯川隆司

▽2010年11月20日の定例会にて、『地域企業ネット事業部』の活動報告を会員の方々に聞いていただき、これからも地域から期待される事業部の活動をめざして、意見交換会を開催いたしました。

▽コーディネーター：矢野理事

▽パネリスト /

- 《Aブロック》 株エルアイ武田 峯村社長
- 《Bブロック》 株白栄社 高見社長
- 《Cブロック》 けーきはうす 天使のたまご
店主 片岡さん
- 《Dブロック》 シャープ特選工業(株)
北村社長

矢野：私は天王寺で段ボール業を営んでいます。創業は60年です。最近、『発達障害は経営者になれる』を持論にしています。私は子どもころから通知簿に“落ち着きがない”と書かれていました。おそらく多動の傾向があるのでしょう。そんな私ですが、本日よろしくおねがいします。

さて、当事業の経緯は平成15年に『大阪障害者の雇用を支える企業ネット事業部＝通称：OSK企業ネット』としてはじまりました。当時の大阪府の担当者と、障害のある方を雇用している企業で『どんな仕組みが必要なのか？』を話し合ってきました。実は平成10年頃から、中小企業で“廃業・倒産”が増え始めてきた頃でもあり、バブル崩壊の影響で下請け・孫請けの会社で仕事が消え始めたころでした。今は“派遣切り”の象徴的な言葉として今も尚、はたらく場がたくさん消えている現状です。当時はその兆候が見え始めたころでした。そんな中、『自分たちにできることは？』をテーマで、企業とのネットワークを通じ、互いの交流からそれぞれ抱えている課題を解決していくセーフティネットを自分たちで作っていきましょう！と考えました。メンバーは経営者だけでなく、現場で障害

のある方と直に関わっている現場のキーマンにも参加してもらい、経営者と中核を担う現場の方々が、その会社で起こっている課題を持ち寄り、それぞれの知識・経験から解決する手法や情報交流を目的に、大阪を4つのブロックに分かれて活動していきました。それが、『OSK企業ネット』です。この名前は、発足当初の大阪府委託事業の間の事業名で、平成17年に委託事業は終了しました。しかし引き続き、『企業ネット事業部』として活動の理念を継承し、独自事業としてこのネットワークの中で実施してきました。そのころから企業メインの参加から、各地域の福祉関係者等の参加も増えてきましたので、『地域での企業と福祉の連携』を新たなテーマとして、2年前から『地域企業ネット事業』となり、現在も活発に活動しています。本日は、その各ブロックの幹事事業所から、活動報告と成果・課題等の発表をおねがいします。

《Aブロック》株エルアイ武田 峯村社長

平成16年に、私がエルアイ武田の社長に就任してすぐ、矢野さんから「入ってください」とお誘いを受けました。当時、障害者雇用について分からないことが多かったので、『百聞は一見にしかずの如し』で色んな会合や見学に出向きました。平成18年から、スミセイハーモニー・ニッセイニュークリエーション・エルアイ武田の特例子会社3社で、Aブロックの幹事事業所をはじめました。『企業と福祉との連携』がテーマでしたので、“特例子会社の見学”・“福祉施設及び、就労支援機関の見学”・“特例子会社ではない企業への見学”の3つの視点で、それぞれへ出向き勉強会を進めてきました。今回振り返ると、我々企業の受け入れる側と、就労支援関係の送り出し側のお互いを知り合うことが大切だとおもっています。特に私は、福祉のことは全然知りませんでした。企業と福祉が

キャッチボールできることは、雇用継続や雇用拡大には欠かせないことだと実感しています。また、特例子会社ではない企業での厳しい雇用の実情も目の当たりさせていただき、それならエルアイ武田ができることは、とことん実習受け入れ、特例子会社が頑張る雇用を広げていくことが役割と今おもっています。これからも参加する方々と一緒に、お互い分かり合いながら、地域で頑張っていきたいと考えています。

《Bブロック》(株)白栄社 高見社長

パナソニック交野・三洋ハートエコロジーと私の会社の3社で進めています。やっていく中で、企業が困っている事について解決を目指すことと、情報交換会がメインです。特に情報交換がとても大切です。制度のことや、支援機関との連携がスムーズに行かないとダメです。最近の課題は親が高齢の（亡くなる）ケースが出てきています。生活面では福祉との連携が要です。その時、企業と福祉が『ツーカーの仲』になっておくために、この活動は大切です。企業だけでは限界があるので、福祉との連携が重要です。また、会社で働いている彼ら自身も年をとってきて、体力的に難しい方も目に付き始めています。その方々へのスムーズに働く場を企業だけでなく、多様な場で連携していくためにもこの活動はこれから大切になってきます。『企業・福祉・教育・行政が同じ目線で進み、それぞれが出来ることはないだろうか?』と一緒に進めていくことを考えています。がんばります。

《Cブロック》けーきはうす 天使のたまご

店主 片岡さん

淀川・池田・茨木周辺に北大阪を中心にダイキンサンライズ撰津さんと共に活動しています。圏域内では大きな企業が少なく中小・零細企業が多い地域柄、障害のある方を雇用される会社に出向き、その社長さんから直接話を聞いてきました。色々な企業に行きましたが、その会社での素敵なエピソードや、社長の温かさや、支援機関との連携などを知ることができて、障害者雇用を通じて、参加者一同みんな元気になっているのが特徴です。日ごろから『障害者雇用は未来をひらく』とおもっていますが、

この活動に通じて手ごたえを感じています。私の原点は、平成10年に関最高顧問が当時代表理事の頃に、ヘレンケラーから「あなた方の心のもし火を掲げてください、そうすれば照らされる人がふえるでしょう」の言葉に衝撃を受け、それが今こんな連携ができていたんだと感じています。大阪を元気にするのは、彼らと共になんでしょうね。

《Dブロック》シャープ特選工業(株) 北村社長

天王寺から岬町までを圏域に活動をしています。昨年の6月から社長に就任し、活動に参加しました。はじめに感じたのは、“ネットワーク”という言葉はあるものの、現実には企業・福祉・学校・各機関との連携はまだまだ、薄いなど、おもいました。そこでDブロックのテーマは『障害のある方の就労時だけでなく、就労後に関係する現状と対策』・『企業、行政、就労関係施設等のネットワークづくり』にしました。さまざまな立場の方の参加があり、特に学校側の参加から、実習窓口の相談や、企業での受け入れが活発に実施できました。これからも私の会社では、新たな仕事づくりを頑張っていき、色々な機関と連携していきたいと思っています。また今回は行政からも積極的な参加があったので、来年は更にそれらが大きな動きになっていけたらと考えています。

おわりに…

以上のように、各ブロックの幹事事業所の方々から特色のある活発な報告をいただきました。初めて定例会に参加された学校関係者の方より「本会は重々しい話をするのかと思っていました。しかし…笑いあり、目からウロコ等の話を聞かせていただき、社長の真剣で前向きな姿に感動しました。これから障害のある方への支援での悩みや、困ったときのきっかけとして、事業部に参加したいです。」と感想をいただきました。これからも企業と福祉のみならず、さまざまな立場の方々の『地域企業ネット事業』へのご参加をよろしくおねがいします。…登壇者のみなさまありがとうございました。

おおさか障害者の雇用を支える企業ネット会議 OSK企業ネットフォーラム全体会(予告編)

開催日 平成23年3月9日(水) 午後1時00分～午後5時00分 (受付 13:00～)

会場 大阪市立中央会館 ホール (大阪市中央区島之内2丁目12-31)
TEL 06-6211-0630

募集人員 80名 **受講料** 無料

主催 特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワーク

OSK企業ネットフォーラム受講申込書

大阪障害者雇用支援ネットワーク 宛 FAX 06-6949-1256 / E-Mail: o-isc@onyx.dti.ne.jp

スケジュール

時 間	内 容	講 師
13:20～13:30	開講挨拶：大阪障害者雇用支援ネットワーク 代表理事 江口 敬一	
13:30～14:30	講演テーマ(仮)「障害者を雇用した企業経営」 大東コーポレートサービス株式会社 (大東建託株式会社の特例子会社) 代表取締役社長 山崎 亨 氏 ・会社紹介 ・特例子会社立ち上げ、経営にあたり、 山崎さん自身が感じたこと、かわったこと ・企業へのメッセージ ・支援者へのメッセージ	
14:40～16:10	グループに分かれてバズセッション	
16:20～16:50	山崎社長への質疑応答	
16:50～17:00	閉講挨拶 大阪障害者雇用支援ネットワーク理事 矢野 孝	

OSK企業ネットフォーラムのテーマ：「企業と福祉の連携」

OSK企業ネットでは大阪府を東西南北4ブロックに分け、各地域で特色ある企業ネットフォーラムを開催してきたところです。日頃はブロックごとの取り組みになりますが、全大会では各ブロックが地域でどのようなネットワークを構築しているのかをご紹介します。

OSK企業ネットフォーラムのテーマの通り、企業間だけでなく、福祉事業所、就労支援機関、学校とのつながりもますます深まってきたのではないかと思います。

今年度の全体会では、

東京より大東コーポレートサービス株式会社 代表取締役社長 山崎 亨 様にお越し頂き、会社の取り組みや特例子会社の立ち上げ、経営にあたっての思いをお話いただきたいと思います。

参加者の皆様には、山崎社長のお話を受けて、質疑応答の時間も設けております。

是非、ご参加ください。